

## 1 現状と課題

### 〔現 状〕

- 本県には、成長分野の技術・製品開発の基盤となる大手化学企業等基礎素材型産業（瀬戸内基幹企業\*群）や、高度なものづくり技術を有する中堅・中小企業（地域中核企業\*群）が集積
- 技術交流プラットフォーム「やまぐちR&Dラボ\*」や高度技術者等の技能・知識を活かした「やまぐちOB等人材バンク\*」を設置。（令和元年度（2019年度））技術交流会やワークショップ等の開催のほか、OB人材による技術指導等を実施
- また、高校生の県内就職支援や奨学金返還補助制度等の取組により、産業人材の確保を推進
- 新型コロナウイルス感染症\*拡大の影響により、企業のイノベーション創出に向けた取組停滞のほか、デジタル化\*等の社会変革の動きが加速

### 〔課題と方向性〕

- 県経済の持続的成長・発展のためには、オープンイノベーション推進体制を強化するなど、本県の強みである「ものづくり」を中心とした産業集積や高度技術を活かしたイノベーション創出の取組をさらに推進することが必要
- また、イノベーションの加速には、研究者、技術者のほか、ものづくりを支える産業人材の確保や育成の支援が必要

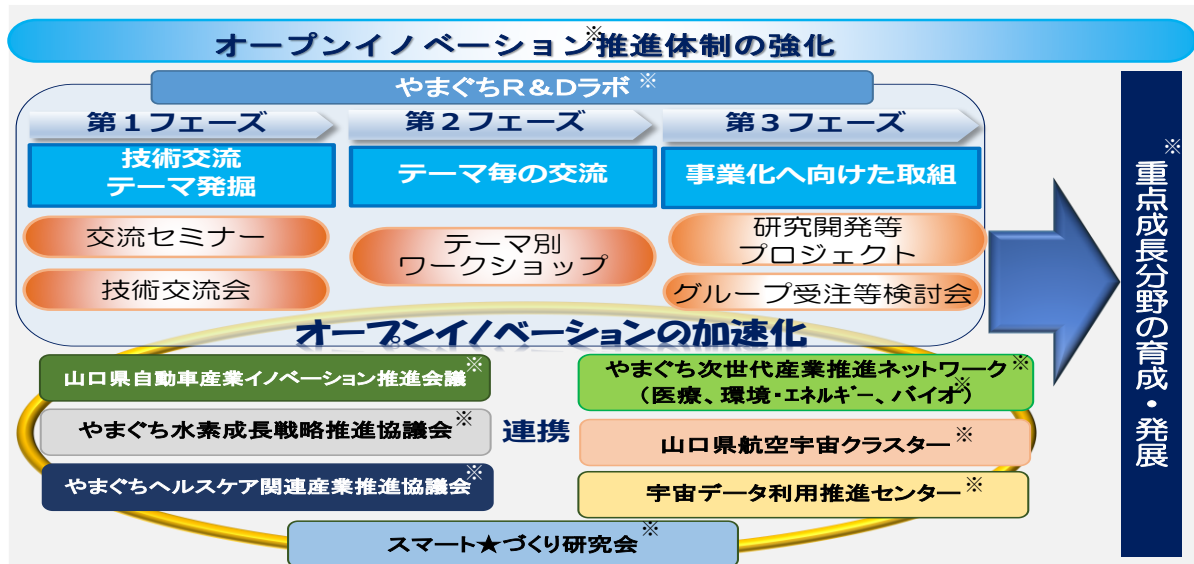
## 2 プロジェクトの概要

### 重点成長分野\*におけるイノベーション\*創出の促進や人材の確保・育成

- 技術交流プラットフォーム「やまぐちR&Dラボ\*」や重点成長分野に対応した研究開発推進組織の連携によるオープンイノベーション\*推進体制の強化
- 瀬戸内基幹企業\*群と地域中核企業\*群等との技術交流による研究開発等の促進（技術交流会・ワークショップ等の開催）
- 技術者・研究者の技術交流を通じた高度産業人材の育成支援
- 「やまぐちOB等人材バンク\*」と「プロフェッショナル人材戦略拠点\*」の連携による人材確保の促進
- 産学公が連携した人材育成プログラム等の実施（GMPカレッジ\*等）

### 産業人材の確保

- 奨学金返還補助制度の充実による高度産業人材の確保
- 「高校生県内就職促進プロジェクト」による人材の確保、若者の県内定着の促進



### 3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
重点成長分野※におけるイノベーション※創出の促進や人材の確保・育成	<b>&lt;オープンイノベーション※推進体制の強化&gt;</b> ・「やまぐちR&Dラボ※」と「やまぐち次世代産業推進ネットワーク※」等との連携強化		
	<b>&lt;瀬戸内基幹企業※群と地域中核企業※群等との技術交流による研究開発等の促進&gt;</b> ・「やまぐちR&Dラボ」における技術交流会やセミナー・ワークショップ等の開催		
	<b>&lt;技術交流を通じた人材の育成支援&gt;</b> ・産業人材が参加するワークショップ等の開催を通じた人材の育成		
	<b>&lt;やまぐちOB等人材バンク※とプロフェッショナル人材戦略拠点※の連携による人材確保の促進&gt;</b> ・セミナー共催等による人材の重点的な掘り起こし・マッチング等の強化		
	<b>&lt;産学公が連携した人材育成プログラム等の実施&gt;</b> ・ものづくり生産管理技術等に関する研修及び研修受講への支援 ・医薬品等の製造管理及び品質管理（GMP※）のための体系的な研修プログラムの実施		
	産業人材の確保	<b>&lt;奨学金返還補助制度の充実による高度産業人材の確保&gt;</b>	
<b>&lt;「高校生県内就職促進プロジェクト」による人材の確保、若者の県内定着の促進&gt;</b>			

### 4 取組目標（指標）

指標名	現状値		令和5年度(2023年度)目標値
	数値	基準年/年度	
研究開発等プロジェクト化件数	1件	令和元年度(2019年度)	15件/3年
産業人材のマッチング件数	—	—	210件/3年
奨学金返還補助制度を活用した県内就業者数(累計)	20人	令和元年度(2019年度)	40人